

第5章

基本目標別の
取組方針

基本目標別の取組方針

基本目標 1 持続可能で収益性の高い経営体づくり



スマート水産技術を駆使した効率的な操業

事業群

① 水産資源の維持・増大のための適切な資源管理の推進と漁場づくり

(1) 実効性のある自主的な資源管理と効果的な種苗放流^{*}による水産資源の維持・回復

- 県が策定した「資源管理方針^{*}」に基づき、漁業者の自主的な資源管理措置等を定めた「資源管理協定」について、操業実態や資源調査等のデータに基づく協定の効果検証・見直しを定期的実施し、より実効性のある資源管理を推進します。
- 水産資源の底上げを図り、漁業の経営安定に資する栽培漁業を展開するため、市場性が高く高水温等の海洋環境の変化に対応した放流対象種に重点化するとともに、種苗の安定生産・供給に必要な施設・機能の再編等に取り組み、効率的な放流事業を推進します。



ガザミ種苗



クエの種苗放流



マナマコ種苗

(2)適切なTAC管理※による特定水産資源※の持続的な利用

- 新たなTAC管理対象魚種※については、導入当初の柔軟な運用として段階的に順次実施する「ステップアップ管理」を踏まえ、県内の漁獲情報収集体制の確立、県内漁獲枠配分の試行・検討のため県内漁業関係者と協議を行いながら、本格的なTAC管理への円滑な移行に取り組めます。
- TAC管理対象魚種の漁場形成や来遊の大幅な年変動、混獲などに柔軟に対応するため、県外の漁業関係者と関係を構築し、漁獲枠の融通などによる資源の有効活用を図ります。
- 国(水研機構)と連携して、漁業関係者の理解と協力を得ながら、資源評価の精度向上に取り組めます。

※TAC管理対象魚種(本県に関係が深いもの):マサバ・ゴマサバ、マアジ、マイワシ、サンマ、クロマグロ、スルメイカ、カタクチイワシ、ウルメイワシ、マダイ、ブリ
 (下線部は、令和2年漁業法改正以降の新たなTAC管理対象魚種)

【ステップアップ管理のイメージ】	現在	1年目	2年目	3年目	4年目～
<ステップ3> ①資源管理目標・漁獲シナリオの再設定とそれに基づくTACの設定・都道府県等へ配分 ②採捕停止命令を伴うTAC管理の実行 ③管理措置の早期レビュー及び必要な見直し			3年間を想定		3年以内にレビュー
<ステップ2> ステップ1の取組に加え、 ①都道府県等への配分の試行(目安数量の提示) ②ステップ3に向けて、管理の運用の検討・試行			一定の取組が進んでいる資源		SH会合・水産政策審議会
<ステップ1> ※この段階から特定水産資源として指定 ①TAC報告の義務化 ②TAC報告状況の確認・情報収集体制の確立 ③資源毎の課題に対する取組の実施	電子的手法を活用した漁獲情報の収集等			TAC意見交換会・水産政策審議会	

国が示すTAC管理のステップアップの考え方

(3)適切な漁業管理と漁業取締による漁業秩序の確保

- 水産資源の管理と持続的利用を図るため、漁業許可制度の適切な運用と漁業調整により漁業秩序を堅持します。
- 水産資源に悪影響を与える悪質な密漁を撲滅するため、漁業違反通報を24時間受理し、漁業取締船5隻及び航空機等の他、海上保安部、水産庁、警察といった他の取締機関と合同で取締りを行い、違反者には厳格に対処します。
- 漁業違反情報が多い海域や夜間に取締船を集中配備し、取締りを強化します。
- 悪質な密漁者を検挙するため、時速40ノット以上の速力や証拠採取のための暗視カメラを搭載した取締船の能力を活かした取締りを行います。
- 漁協等と連携して漁場監視及び啓発活動を行い、密漁を抑止します。



漁業取締船かいりゅう(令和6年6月竣工)

県の漁業取締船

船名	トン数
かいりゅう	85
かいおう	99
はやぶさ	99
おおとり	84
ながさき	77

- 遊漁に対しても資源管理や漁場の秩序ある利用に関するルールを浸透させながら、漁業との共存を図ります。
- 安心して持続的に漁業活動を行うため、漁業集落等が自ら行う国境・水域・漁場等の監視などの取組を推進します。
- 我が国排他的経済水域^{*}の境界線の画定と中国及び韓国等の外国漁船の不法操業に対する取締りの強化を引き続き国に要望します。

(4) 水産資源の底上げを図るための漁場環境の保全・改善

- 海水温の変化に適応し、効果的な藻場回復を図るため、高水温に強い種苗を導入した藻場礁の整備を行うとともに、植食性魚類からの食害を防ぐ仕切り網等の設置による食害防止対策や食害生物の有効活用を推進します。
- 漁場の生産力を向上させるため、漁業者が行う藻場・干潟の保全活動や漁場の管理・改善を推進するとともに、ブルーカーボンのクレジットを活用した保全活動体制の強化を進めます。また、近年の豪雨に伴う陸域からの泥土の流入や高水温等による漁場環境悪化への対応として、海底耕うん[※]等による漁場環境の保全・改善の取組を推進します。
- 漁場の保全を図るため、海洋プラスチックを含む漂流・漂着ごみの除去や、漁業系廃棄物等の適切な処理とリサイクルの普及啓発を推進します。



食害対策で回復した海藻群落



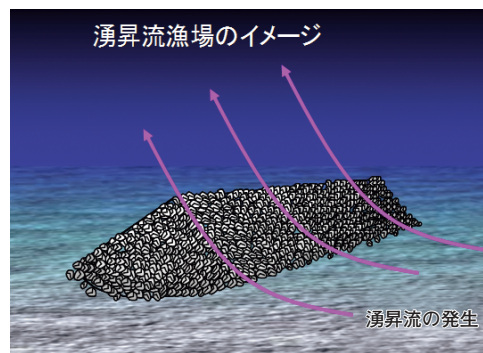
漁業集落の食害対策によるヒジキ場の再生

(5) 安定した漁業生産活動を支える漁場整備の推進

- 漁場の生産力向上を図るため、沿岸域においては利用頻度が高く効果が確認された人工魚礁を更に拡大するとともに、沖合域では、国が整備したマウンド礁と連携し、より高い増殖効果を発揮するマウンド礁の造成を推進します。



人工魚礁に集まる魚群



基礎生産力を高めるマウンド礁

第1章
データで見る
本県水産業の現状と
取り巻く環境

第2章
前計画の成果検証

第3章
本県水産業を
取り巻く情勢変化と
課題

第4章
計画の主旨

第5章
基本目標別の
取組方針

第6章
海区別の取組方針

第7章
試験研究の取組方針

第8章
私たち若手職員が
描いていく長崎県の
水産業の将来像

事業群

② 収益性の高い新時代の漁業経営体の育成

(1) 多様な漁業や経営の多角化を実践する経営モデルづくり

- 社会情勢や自然環境の大きな変化に適応するため、新たな漁業種類の導入や漁獲から販売までの一貫した取組による付加価値向上、海業への参入による経営の多角化などを推進し、漁業者の経営体質の強化を図ります。
- 猛暑対策を始め漁業者の労働環境の改善にも取り組み、経営を取り巻く環境変化を乗り越えられる強い経営モデルづくりを推進します。
- 漁業経営の安定を目指し、10年以上にわたり漁業者に対する経営指導を行ってきたノウハウや成果を活かしつつ、販売、ブランド化、情報発信、法人化、事業承継などにも対応できるように体制を再構築し、所得向上に向けた指導を行います。



新たな漁獲対象種の開拓



加工による付加価値向上



新しい養殖への
チャレンジ

多様な漁業や経営の多角化

(2) 次世代を担う漁業者への重点的な経営指導と取組支援

- 経験不足等の課題を抱える若手漁業者の経営安定や所得向上を図るため、漁法の選択肢の拡大やスマート機器の活用促進、漁船漁業と養殖業の組合せによるハイブリッド漁業等の新たな取組を推進し、次世代を担う漁業者を育成します。
- 漁業着業直後の経営安定が課題である新規就業者に対しては、着業前から経営指導を行い、年間操業計画や投資計画の策定を支援することで、安定した所得の確保と定着率の向上を図ります。



経営指導を受け、所得の安定をめざす若手漁業者

(3) 漁業所得向上を目指す地域浜プラン[※]・広域浜プラン[※]の取組促進

- 地域浜プランの具体化による収入向上対策や、コスト削減、漁村活性化等の取組を着実に推進するため、地域ごとの漁業実態や経営状況等のデータに基づく取組の検証や分析、各浜との意見交換・情報提供等を行い、漁業者の所得向上を図ります。
- 広域浜プランに基づき、漁村地域が広域的に連携して行う集出荷機能の再編・強化や販売力の強化、中核的担い手の育成などの取組について市町と連携しながら推進し、水産業の競争力強化に繋がります。



各浜における漁獲物の付加価値向上等の取組

(4) ICT[※]等の先端技術を活用したスマート水産業[※]の推進

- 漁業者向けの学習会等を通じて、操業効率化のための海況予測アプリ[※]や効果の高い高性能漁労機器等に関する情報提供を行います。
- 若手漁業者の経験不足等の課題を解決し、経営力の強化や所得向上を目指すため、国と連携してスマート機器の導入を推進します。



漁業のスマート化[※]のイメージ

(5) 操業効率化等を目指した漁船等の導入による漁船漁業構造改革の推進

- 漁業を取り巻く様々な環境変化に適応するため、国の事業等を活用し、省エネや省力、安全性及び機能性に優れた漁船や漁網の導入等に漁業者と一体となって取り組み、必要に応じて許可の見直し等も図りながら、新しい操業・生産体制への転換を推進します。

第1章 データで見る
本県水産業の現状と
取り巻く環境

第2章 前計画の成果検証

第3章 本県水産業を
取り巻く情勢変化と
課題

第4章 計画の主旨

第5章 基本目標別の
取組方針

第6章 海区別の取組方針

第7章 試験研究の取組方針

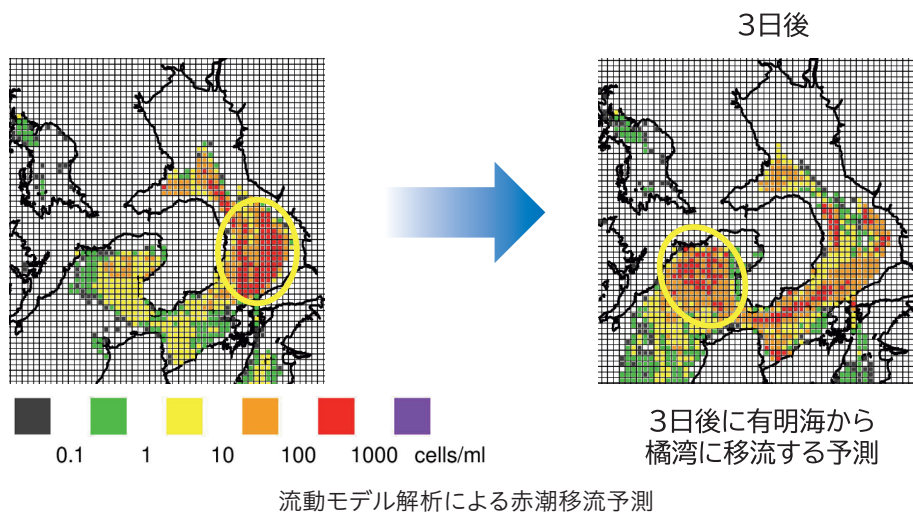
第8章 私たち若手職員が
描いていく長崎県の
水産業の将来像

事業群

③ 持続的な養殖業の成長産業化

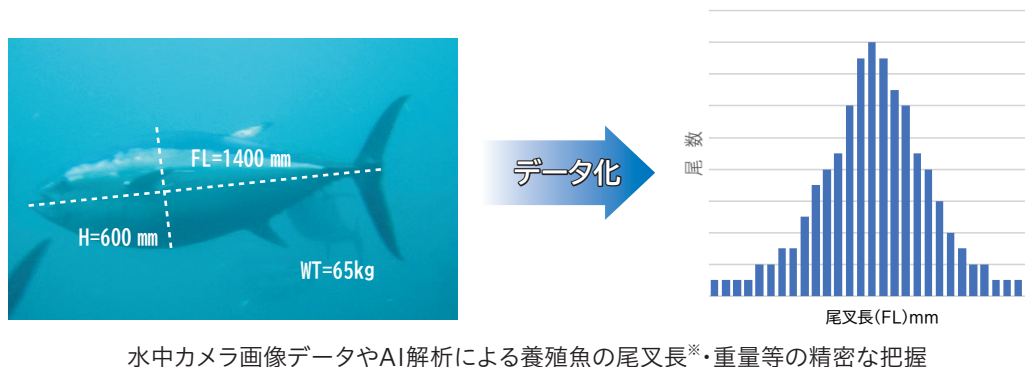
(1) 自然環境や経済環境の変化に対応するための産学官連携による技術開発

- 国や大学、周辺県、地元関係者等と連携し、赤潮プランクトンの広域的なモニタリングによる早期発見と移流予測の精度向上を図りつつ、赤潮防除剤[※]や足し網[※]など被害軽減技術の活用推進のほか、新たな対策等についても連携の枠組みの下で取り組みます。
- 飼料価格の高騰に対応するため、国や大学等と連携して低魚粉飼料[※]の開発等に取り組むとともに、魚病による歩留まり低下を改善するため、民間企業等と連携して新たな対処法の開発等に取り組みます。
- 長崎大学を中心に産学官で実施する「ながさきBLUEエコノミー[※]」プロジェクトを通じて、ブリの完全養殖と海外展開、養殖DXなどの取組を推進します。



(2) 地域の中核となる養殖経営体によるデジタル技術導入など先進的取組の展開・普及

- デジタル技術や先駆的な養殖手法の導入、加工や国内外への販路拡大など、地域の中核となる養殖業者による新たな取組を推進し、その成果を養殖経営モデルとして地域内外に普及させることで産地の強化を図ります。



(3) 生産拡大に向けた養殖漁場の有効活用や沖合への展開、漁港の養殖生産機能の強化

- 波浪や潮流に強い養殖施設の開発・普及により、未利用となっている海域や沖合の海域の活用を進めることで生産性の高い養殖漁場の開発に取り組みます。
- 養殖漁場の環境に配慮しながら、海外のニーズに対応した生産拡大を推進します。
- 消波堤の整備などによる沖合への展開や漁港内の水域・陸域の活用によって安定した養殖生産を拡大し、漁場と漁港の機能が一体となった養殖拠点づくりを推進します。



海外で人気の高い大型で高脂質のブリ



沖防波堤による養殖に適した静穏域の確保

(4) 環境変動に対応し競争力強化を図る新魚種開発と主要魚種の高品質種苗の開発

- 短期間で出荷可能なウスバハギや、高水温に強いハイブリッドサバ[※]・三倍体マガキ[※]など新たな養殖魚種の種苗生産技術及び養殖技術の開発に取り組むほか、国内外で需要が高いシマアジなどの養殖種苗の安定供給に取り組みます。
- 高成長で白子の大きな全雄トラフグ[※]の開発と社会実装に取り組み、長崎県産養殖トラフグの付加価値向上を図ります。



成長が早いウスバハギ



高成長で白子の大きな全雄トラフグの開発

第1章
データで見る
本県水産業の現状と
取り巻く環境

第2章
前計画の成果検証

第3章
本県水産業を
取り巻く情勢変化と
課題

第4章
計画の主旨

第5章
基本目標別の
取組方針

第6章
海区別の取組方針

第7章
試験研究の取組方針

第8章
私たち若手職員が
描いていく長崎県の
水産業の将来像

事業群

④ 水産物の生産・流通の拠点となる漁港等の整備

(1) 多様な漁業を支える漁港等の機能の強化

- 安全で安定した漁業生産活動や生産規模の拡大を支えていくため、水産物の生産・流通の拠点となる漁港等において、漁船の大型化に対応した施設整備や漁港機能の再編・強化を図るとともに、利用実態に則した既存施設の最適化を推進します。



岸壁への屋根整備による荷捌所と一貫した高度衛生管理の強化

(2) 頻発化・激甚化する自然災害への対応力の強化

- 漁港の機能を持続的に発揮させるため、頻発化・大型化する台風や将来の海面上昇などを考慮した施設整備や予防保全^{*}型の長寿命化対策などにより、漁港施設の強靱化を推進します。



越波被害防止のための防波堤改良

第1章
データで見る
本県水産業の現状と
取り巻く環境

第2章
前計画の成果検証

第3章
本県水産業を
取り巻く情勢変化と
課題

第4章
計画の主旨

第5章
基本目標別の
取組方針

第6章
海区別の取組方針

第7章
試験研究の取組方針

第8章
私たち若手職員が
描いていく長崎県の
水産業の将来像



壱岐勝本地区の漁船パレード

基本目標2 国内外に美味しさを届けるネットワークづくり



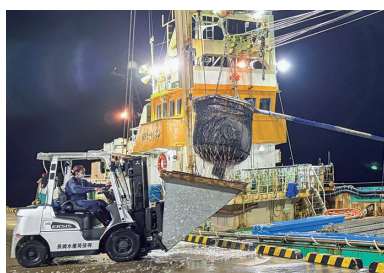
魚市場でのセリと海外での展示PR

事業群

① 産地魚市場の水産物集出荷機能の強化

(1) 水産物の集出荷機能向上と衛生管理の高度化による生産者と消費者から選ばれる産地市場づくり

- 産地魚市場における集出荷施設（配送用作業施設等）の整備を行い、水産物の陸揚げから出荷の各段階における衛生管理の向上を図るとともに、市場周辺の冷蔵保管施設や製氷施設等の整備を促進することにより、市場の水揚能力と高品質な水産物の供給体制を強化します。
- 人材不足への対応として、スマート技術の活用により、産地魚市場における荷捌き作業や記録管理等の市場業務の効率化・省人化を推進するとともに、外国人材の受け入れに向けた制度整備を引き続き国に要望します。



まき網漁船の陸揚げ



高度衛生管理型の荷捌き施設



自動選別機による荷捌き

② 県産水産物の国内バリューチェーン強化

(1) 資源変動やマーケットニーズに対応し産地の競争力を高める加工・流通の強化

- 高品質な水産物を産地から販売先や消費者まで届けるバリューチェーンを強化するため、生産者、加工業者、流通業者、販売業者のマッチングの促進や、効率的な物流についての検討を行い、付加価値向上と取引拡大を目指します。
- マーケットインの発想に基づき、販売店が求めるフィレ[※]やロイン[※]などの一次加工、消費者が求める簡便性の高い高次加工、産地の強みであるワンフローズン[※]加工の取組を推進し、流通コストの削減を図りながら産地競争力を高めます。
- 生産者による鮮度保持や出荷規格の統一など水産物の高品質化の取組によるブランド化を推進し、販売価格の向上を目指します。
- 近年漁獲量が増加しているマイワシや、海藻を食べる植食性魚類などの未・低利用魚種の加工商品開発により付加価値向上に取り組めます。



原魚出荷から産地フィレ加工へ



大型クロマグロの鮮度保持

③ 県産水産物の戦略的な輸出促進

(1) 本県の強みを生かし多様な国に販路を広げる輸出の展開

- 東アジアに近く活魚の輸送に有利な本県の強みや、海外でニーズの高い大型の養殖クロマグロやブリなど安定供給が可能なこと、季節ごとに多彩な天然魚が提供できるといった商品特性を活かし、もうかる販路の拡大、輸出先国・地域の多様化に取り組めます。
- 市場調査等による海外ニーズの把握や現地バイヤーと連携したPR、展示商談会への出展、フェアの開催等により、拡大する海外市場の販路開拓・拡大に取り組めます。
- 養殖産地と県内加工事業者等が連携し、海外で求められるロットや商品形態、衛生管理基準に対応する取組を、ソフト・ハード両面で後押しすることで、養殖魚の輸出を促進します。



長崎産養殖クロマグロのタイでのPR

基本目標3 水産業を未来につなぐ人づくり



ベテラン漁師から学ぶ若手漁業者

事業群

① 新規漁業就業者の確保と定着促進

(1) 新規就業希望者等に漁業の魅力を伝える情報発信の強化

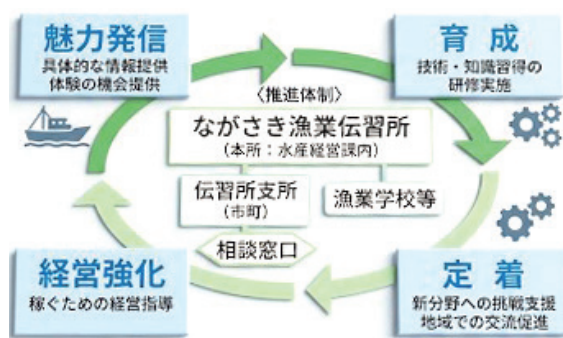
- 小中学校や高等学校等と連携し、職業としての漁業の魅力を伝え体感させ就業につなぐ実習プログラムを実施し、若年層の水産業への理解を深めていきます。
- 水産業就業相談会等を県内外で開催し、漁業のほか水産業全般に関する就業情報を具体的に伝え、漁業をはじめとした水産業界全体の人材確保に取り組めます。
- ホームページ、ネット広告、SNS[※]等を活用し、幅広く本県漁業の魅力や漁業就業に関する情報を発信し、多くの就業希望者を呼び込みます。



長崎県水産業就業支援フェア(県庁開催)

(2) 就業相談から技術習得、着業から経営自立まで段階に応じた切れ目ない支援

- 「ながさき漁業伝習所[※]」がワンストップ窓口となり、就業相談や受入地域とのマッチング、技術習得研修の実施、着業から定着までスムーズで切れ目のない支援を行い、新規漁業就業者を育てます。また、若い漁業者等の知識や技術力の向上を図るために、漁業伝習所に学びの場を新設します。
- 環境変化の中でも力強く稼ぐ漁業者を育成するため、技術習得研修段階から経営計画策定を指導します。また、漁業開始後には着実に計画達成を図るため丁寧なフォローアップを行います。
- 漁業を続けたいが環境に馴染めないなどの理由でやむを得ず離職を検討する若手漁業者に対して、県内で新たな漁業分野に挑戦できる仕組みづくりを進めます。



新規就業者の受入・定着促進のイメージ



漁業の基礎を学ぶ研修生



師匠から曳縄漁業の技術指導を受ける若手漁業者

(3) 新規就業者等を地域で支える体制の強化と外国人材の円滑な受入

- 漁業への新規参入者の定着を図るため、市町の「漁業担い手確保協議会[※]」と連携し、仕事や生活についての悩みに関する相談窓口を開設するなど、受入体制を充実します。
- 定置網や養殖など雇用型漁業の人材を確保するため、「株式会社エヌ[※]」と連携し、外国人材の受入を促進します。
- 住民や漁業者等との交流の場を作ることで、IJターン者や外国人など多様な人材の地域コミュニティへの受入を円滑に進め、漁村の活性化に繋がります。
- 漁業士会[※]、漁協青壮年部、女性部組織等の活動を通じて、漁村におけるリーダーの育成や女性の活躍、地域を超えた交流を促進します。



女性や外国人材の活躍

(4)安全操業、海難防止に向けた取組

- 水産業関係者の安全・安心な労働環境等を確保するため、漁業労働災害や海難事故の発生防止を目的とした海難防止講習会等を関係機関と連携して実施し、ライフジャケットの着用徹底や安全確保に対する漁業者等の意識向上に取り組みます。

事業群

② 働きやすく暮らしやすい漁村の環境整備

(1)多様な人材の活躍を支える働きやすい漁港の整備

- 誰もが安全で働きやすい環境を整えるため、潮位差に対応できる浮棧橋^{*}や防風フェンス等の整備を推進し、漁業活動の安全性向上と軽労化を図ります。



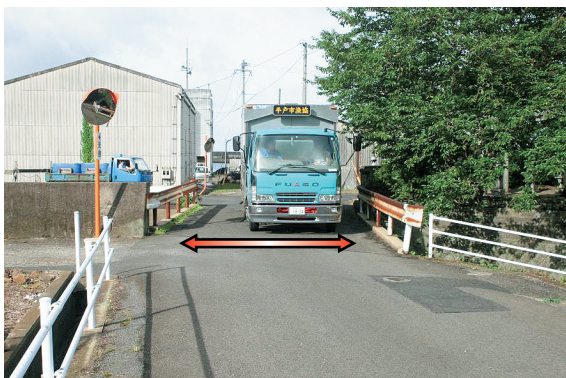
潮位差対策の浮棧橋、防暑対策の屋根



漁港内の作業環境を向上させる防風フェンス

(2)漁村で暮らす人々の快適な生活を支える環境の整備

- 漁村における快適な暮らしを支えるため、排水施設の機能の維持や、道路の拡幅による安全で快適な交通環境の整備等を推進します。



集落内の道路の拡幅（整備前後）

第1章 データで見る
本県水産業の現状と
取り巻く環境

第2章 前計画の成果検証

第3章 本県水産業を
取り巻く情勢変化と
課題

第4章 計画の主旨

第5章 基本目標別の
取組方針

第6章 海区別の取組方針

第7章 試験研究の取組方針

第8章 私たち若手職員が
描いていく長崎県の
水産業の将来像



インターンシップで漁業者から漁具のつくりを学ぶ高校生

基本目標4 海とさかなの魅力を活用した浜の賑わいづくり



県内外からのファンで賑わう牡蠣焼き小屋

事業群

① 海の魅力を活用した人を呼び込む仕組みづくり

(1) 漁港等の活用や多様な主体の参画による海業の更なる展開

- 漁村の地域資源や魅力を活用した海業を促進するため、ポテンシャルのある地域や人材の掘り起しを行い、観光や商工分野など多様な業種と連携して地域の実施体制づくりに取り組みます。
- 漁港施設や水域等を活用した海業の展開に向けて、漁港用地等の民間利用も含めた計画づくりと実践の取組を促進します。
- 海業の事業化と定着のため、地域の多様な主体の参画を促しながら、観光コンテンツの開発・充実と地域内外への情報発信に取り組み、交流人口や水産物の地域消費の拡大を図ります。

養殖エサやり体験



湾内等でのマリニアクティビティ



観光遊覧船によるクルーズ



産地ならではの水産物の提供



海や漁村、水産物の魅力を活かした海業の展開

(2)水産物の魅力発信による需要の創出

- 本県が西日本随一の水産県であるということを広く県民へ周知するため、さかな祭りなどのイベントやSNS等の各種媒体を活用し、全国トップクラスの水揚量、魚種数日本一、鮮度の良さ、旬や産地、安全・安心な養殖魚などの魅力に関する情報を発信します。
- 漁協や漁業士会等と連携して、県内の小中高生等を対象に魚料理の体験など水産物に親しむ食育活動を行い、魚食の推進を図ります。
- 多くの県民が本県水産物の魅力を実感できる機会を提供し、認知度向上と消費拡大を図るため、県内各地で行われる飲食イベントや県内小売店での県産魚販促キャンペーンなどを効果的に実施します。
- 本県水産物の魅力が県外にも広く伝わり、国内外の需要拡大に繋がるよう、長崎県「押し魚[※]」による県外観光客の誘致や、県内各地のブランド魚・「長崎俵物[※]」などの県外PRと消費拡大を推進します。



魚市場のさかな祭り(模擬セリ)



押し魚(新上五島町養殖クロマグロ)ポスター



長崎俵物

第1章 データで見る
本県水産業の現状と
取り巻く環境

第2章 前計画の成果検証

第3章 本県水産業を
課題 取り巻く情勢変化と

第4章 計画の主旨

第5章 基本目標別の
取組方針

第6章 海区域別の取組方針

第7章 試験研究の取組方針

第8章 私たち若手職員が
描いていく長崎県の
水産業の将来像

基本目標5 漁業者と浜を支える漁協づくり



クロマグロの水揚げ作業を行う漁協職員

事業群

① 漁村の中核組織としての機能や役割を発揮する漁協づくり

(1) 合併や事業連携等による漁協の機能強化

- 漁協の運営体制を強化するため、漁協経営の現状や将来像を示しながら、系統団体*とともに、漁協合併や複数漁協間で事務・事業を一元化する事業連携の取組を推進します。
- 漁協による商業や観光業など異業種と連携した地域振興の取組や青壮年部、女性部などの活動を推進します。



漁協合併に向けた関係者の協議

(2) 漁協の経営改善等の推進

- 経営不振漁協の経営改善を図るため、系統団体との情報共有をはじめ、緊密な連携による経営改善計画の策定支援や、その進捗管理に取り組みます。
- 限られた人的資源の中で、効率的な漁協事務の遂行と漁業者へのサービス提供を図るため、デジタル化やDXによる業務の効率化を推進します。

(3) 漁協を支える人材の確保・育成

- これからの漁協の運営を担い、漁業者の所得向上を支える漁協職員の確保・育成に、系統団体と連携して取り組みます。
- 水産物の流通・販売に関して、専門的知見やノウハウを有する人材の確保・育成に取り組みます。